



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 エンシュウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 隆史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 泰之

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

TEL 053-447-2111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,998	31.2	966	98.3	673	294.0	612	670.3
24年3月期第2四半期	10,671	△0.1	487	517.9	171	—	79	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 618百万円 (829.2%) 24年3月期第2四半期 66百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	9.70	—
24年3月期第2四半期	1.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	31,701	5,553	17.3	87.03
24年3月期	31,536	4,930	15.6	78.07

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,496百万円 24年3月期 4,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	7.0	1,650	33.0	1,150	15.9	1,000	24.9	15.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

PT. ENSHU INDONESIA, 遠州(青島)機
新規 3社 (社名) 床製造有限公司, 遠州(青島)機床商貿、除外 1社 (社名)
有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会社方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P4「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	63,534,546 株	24年3月期	63,534,546 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	382,881 株	24年3月期	382,517 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	63,151,896 株	24年3月期2Q	63,171,612 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による停滞から緩やかに持ち直す傾向にあるものの、欧州金融不安や中国経済の成長鈍化、長期化する円高など先行きは不透明な状態となっています。

このような情勢の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、工作機械関連事業部門、輸送機器関連事業部門共に増加し、13,998百万円（前年同期比31.2%増）となりました。損益につきましては、増収及び原価低減、経費節減に努めてまいりました結果、営業利益は966百万円（前年同期比98.3%増）となり、経常利益は673百万円（前年同期比294.0%増）、四半期純利益は612百万円（前年同期比670.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、中国を始めとしたアジア地域への売上高が増加し、8,292百万円（前年同期比57.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は763百万円（前年同期比120.3%増）となりました。

輸送機器関連事業部門におきましては、自動車関連の新規製品の取入れにより、売上高は5,666百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益（営業利益）は173百万円（前年同期比44.9%増）となりました。

その他の部門におきましては、不動産賃貸事業により売上高は39百万円（前年同期比0.0%）となり、セグメント利益（営業利益）は29百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ164百万円増加し31,701百万円となりました。この主な要因は、売上債権が2,316百万円減少したものの、現金及び預金が379百万円、たな卸資産が1,792百万円、固定資産が346百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ457百万円減少し26,148百万円となりました。この主な要因は借入金が増加したものの、仕入債務が662百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ622百万円増加し5,553百万円となりました。増加の主な要因は四半期純利益612百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は17.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益に減価償却費及び売上債権の減少等を加え、たな卸資産の増加及び仕入債務の減少等を差引き、683百万円の獲得（前年同期は2,234百万円の使用）となりました。投資活動による資金は主として設備投資による支出、関係会社出資金の払込による支出により、794百万円の使用（前年同期比272.5%増）、財務活動による資金は短期及び長期借入れによる収入から、短期及び長期借入金の返済による支出等を差引き、408百万円の獲得（前年同期比30.8%減）となりました。

なお、前連結会計年度において非連結子会社であった、PT. ENSHU INDONESIA、遠州（青島）機床製造有限公司、遠州（青島）機床商貿有限公司の3社を第1四半期から連結の範囲に含めたことにより、資金は87百万円増加しております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、2,240百万円と前連結会計年度末より379百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成24年8月7日公表の予想を修正いたしました。

当連結会計年度（平成25年3月期）の業績見通しにつきましては、連結売上高30,000百万円、連結営業利益1,650百万円、連結経常利益1,150百万円、連結当期純利益1,000百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、当社の非連結子会社であったPT. ENSHU INDONESIA、遠州(青島)機床製造有限公司、遠州(青島)機床商貿有限公司の3社は重要性が増したことから、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産の減価償却の方法につきまして、従来、当社は定率法(平成10年4月1日以降取得の建物は定額法)を採用し、在外連結子会社は定額法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産について定額法に変更しております。

この変更は当社グループのグローバル展開の進展を踏まえ、海外設備投資の重要性が増すことを契機として、グループ会計方針の統一及び適正な期間損益計上の観点から、有形固定資産の減価償却方法を検討した結果、当社の有形固定資産は安定的に稼働しており、今後も当社の製品から安定した収益が見込まれることから、収益に対応した費用配分を行うために、有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更した方が、より適切に経営実態を表すと判断したために行うものであります。

これにより、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益は85百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ96百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度においてシンジケートローンの財務制限条項等に抵触する事実が発生し、これにより期限の利益喪失に係る請求を受ける可能性がありましたが、当社グループとしては、当該状況を解消すべく経営効率の改善・改革を含む経営計画、資金計画を策定し、取引金融機関に対しシンジケートローン契約の当該事項につき適用免除について協議を行いました。その結果、全貸付人より期限の利益喪失請求を行わないことにつき同意を頂いた書面を受領しましたので、当該状況は解消しております。

なお、当第2四半期連結累計期間においても当該状況に変更はなく、事業継続において不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,860	2,240
受取手形及び売掛金	7,201	4,885
商品及び製品	2,067	3,531
仕掛品	4,842	5,291
原材料及び貯蔵品	991	870
その他	1,856	1,821
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	18,812	18,631
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,387	7,387
その他(純額)	4,734	4,954
有形固定資産合計	12,122	12,342
無形固定資産		
その他	53	49
無形固定資産合計	53	49
投資その他の資産		
その他	633	763
貸倒引当金	△85	△84
投資その他の資産合計	548	678
固定資産合計	12,723	13,069
資産合計	31,536	31,701
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,194	6,532
短期借入金	9,133	9,286
未払法人税等	66	67
賞与引当金	320	320
その他	1,709	1,473
流動負債合計	18,423	17,679
固定負債		
長期借入金	3,677	3,938
退職給付引当金	2,099	2,144
役員退職慰労引当金	55	55
資産除去債務	292	292
その他	2,057	2,037
固定負債合計	8,182	8,469
負債合計	26,606	26,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	△4,100	△3,528
自己株式	△58	△58
株主資本合計	1,712	2,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	△9
土地再評価差額金	3,409	3,409
為替換算調整勘定	△193	△188
その他の包括利益累計額合計	3,217	3,212
少数株主持分	—	56
純資産合計	4,930	5,553
負債純資産合計	31,536	31,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,671	13,998
売上原価	9,154	11,812
売上総利益	1,517	2,185
販売費及び一般管理費	1,029	1,219
営業利益	487	966
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	1
持分法による投資利益	—	3
受取賃借料	9	17
見積原価戻入益	—	16
その他	37	32
営業外収益合計	48	72
営業外費用		
支払利息	128	137
持分法による投資損失	2	—
為替差損	215	190
その他	18	36
営業外費用合計	365	364
経常利益	171	673
特別利益		
固定資産売却益	4	0
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産廃棄損	3	4
災害による損失	70	—
投資有価証券評価損	6	1
特別損失合計	79	5
税金等調整前四半期純利益	96	668
法人税、住民税及び事業税	22	57
法人税等調整額	△5	△6
法人税等合計	17	50
少数株主損益調整前四半期純利益	79	617
少数株主利益	—	4
四半期純利益	79	612

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79	617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△10
為替換算調整勘定	2	11
その他の包括利益合計	△12	1
四半期包括利益	66	618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66	613
少数株主に係る四半期包括利益	—	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96	668
減価償却費	461	299
負ののれん償却額	△2	△2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	87	44
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△43	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	1
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	128	137
為替差損益(△は益)	44	11
持分法による投資損益(△は益)	2	△3
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△0
有形固定資産廃棄損	3	4
売上債権の増減額(△は増加)	△893	2,344
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,570	△1,653
仕入債務の増減額(△は減少)	1,471	△927
その他	135	△33
小計	△2,080	890
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△131	△141
法人税等の支払額	△24	△67
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,234	683
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△237	△502
有形固定資産の売却による収入	74	12
無形固定資産の取得による支出	△9	△4
関係会社出資金の払込による支出	—	△299
短期貸付けによる支出	△40	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213	△794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	253	210
短期借入金の返済による支出	△43	△73
長期借入れによる収入	1,562	1,590
長期借入金の返済による支出	△1,171	△1,311
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△9	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	590	408
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,889	291
現金及び現金同等物の期首残高	3,957	1,860
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	87
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,068	2,240

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,254	5,377	10,631	39	10,671	—	10,671
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	—	35	—	35	△35	—
計	5,289	5,377	10,667	39	10,706	△35	10,671
セグメント利益	346	119	466	27	493	△6	487

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,292	5,666	13,959	39	13,998	—	13,998
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	—	4	△4	—
計	8,296	5,666	13,963	39	14,002	△4	13,998
セグメント利益	763	173	937	29	967	△0	966

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。